



## 今日のキーワード 観光客の視点から見た世界の『都市ランキング』

森記念財団都市戦略研究所は11月9日、2023年版「世界の都市総合ランキング」を発表しました。『都市ランキング』は、世界の主要48都市を対象に、2008年から毎年、6分野を評価し、順位付けを行っています。総合ランキングでは、上位7都市の順位に変動はなく、ドバイが初めてトップ10に入りました。また、観光客の視点から見たランキングでは、ドバイに加え、イスタンブール、シンガポールなどが順位を上げました。

### ポイント1 ドバイが初めてトップ10入り

- 「世界の都市総合ランキング」は、各都市の魅力や課題を示すために、世界の主要48都市の「総合力」を経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセスの6分野・70項目をスコアで評価し、順位付けしたものです。
- 2023年の1位はロンドンで、以下、ニューヨーク、東京、パリ、シンガポール、アムステルダム、ソウルが続き、上位7都市の順位に前年から変動はありませんでした。
- 今年はドバイが初めてトップ10に入りました。「国際コンベンション件数」、「外国人訪問者数」、「国内・国際線旅客数」などの成長が要因で、ドバイの国際的な存在感の高まりが結果に表れました。

【図表：世界の『都市ランキング』2023年】

	総合ランキング	観光客の視点ランキング
1位	ロンドン (1)	ロンドン (1)
2位	ニューヨーク (2)	東京 (3)
3位	東京 (3)	パリ (2)
4位	パリ (4)	ドバイ (5)
5位	シンガポール (5)	アムステルダム (7)
6位	アムステルダム (6)	ニューヨーク (4)
7位	ソウル (7)	イスタンブール (9)
8位	ドバイ (11)	マドリード (6)
9位	メルボルン (9)	モスクワ (8)
10位	ベルリン (8)	シンガポール (15)

(注) ( ) は前年の順位。

(出所) 「森記念財団都市戦略研究所 世界の都市総合ランキング2023」の資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

### ポイント2 観光客の視点ではイスタンブール、シンガポールなどが順位を上げる

- 『都市ランキング』は、総合力や分野別の評価に加えて、観光客の視点での評価も行っています。そのトップ10で順位を上げたのは、2位の東京（前年3位）、4位のドバイ（同5位）、5位のアムステルダム（同7位）、7位のイスタンブール（同9位）、10位のシンガポール（同15位）です。これらの都市は、コロナ禍からの回復で「外国人訪問者数」、「観光地の充実度」などが伸び、観光都市としての存在感を高めました。

### 今後の展開 コンサートなどのイベントが都市への旅行需要を後押し

- 米人気歌手テイラー・スウィフトさんの世界ツアー公演が、2024年3月にシンガポールで開催されます。東南アジアでは唯一の開催地のため、周辺国からもファンが集まり、大きな経済効果をもたらすと見られます。シンガポールのように先進的なインフラ、ハブ空港、ハイクラスホテルを持つ都市は、こうしたコンサートや大規模な国際的イベント、フェスティバルの開催に伴う旅行需要から恩恵を受けており、ランキングを上げそうです。

チーフリサーチストラテジスト  
石井康之（いしい やすゆき）

ここもチェック! 2023年10月13日 中国の大型連休の国内旅行はコロナ前を上回る  
2023年 8月17日 米旅行関連株は好決算で絶好調

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。